

自尊感情・自己肯定感を高める体育

「自己評価・自己受容」、「関係の中での自己」、「自己主張・自己決定」をバランスよく高める授業を実践しています。学習のまとめに、頑張った振り返り共有することで、相手のよさに気付いたり自分のよさに気付いたりして、自信につながることができました。また、課題選択や自己決定する場の設定や技能向上のためのポイントを明確にすることにより、自己課題や教え合いの観点をより意識して学習することができました。

さらに、東京都教育委員会のスポーツ教育推進校として、トランポリン競技の上山容弘選手との交流を深め、自分を信じることや最後まで諦めずに努力する大切さを学びました。



上向台小学校

たてわり班活動

本校では、年間を通して、たてわり班活動を行っています。たてわり班活動での最大の行事は、「たてわり全校遠足」です。6年生を中心として、全校児童が出発から帰校までたてわり班で活動します。

当日はスタンプラリー、昼食、班遊びまで、すべて6年生が中心となって活動します。スタンプラリーはそれぞれのポイントで、先生がミニゲームを考え、クリアしたら次のポイントに進むことができます。そこでも、班の全員が協力しなければ達成できないようになっています。下級生が上級生と一緒に活動することではじめやルールを守り、助け合いながら、異学年間の交流がより一層深まるのです。

泉小学校



たてわり全校遠足のミニゲーム

はつらつタイム

本校では、平成24年度より教育活動全体を通して健康教育に取り組んでいます。健康教育を、食育の推進、体力の向上に関する指導、安全に関する指導、心身の健康の保持増進に関する指導の観点から捉え、多岐にわたって取組を行っています。

その中に兄弟学級で行う「はつらつタイム」があります。1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生でそれぞれのクラスごとにいくつかのグループを作り、上の学年が運動遊びを企画・運営して行う活動です。校庭、第2校庭、体育館、屋上を存分に活用し、元気いっぱい遊びます。回数を重ねるごとに、遊びの質も変化し、活気あふれる活動となっています。



田無小学校

仲良く遊ぶ2年生と4年生

通常学級における個に応じた支援の充実

本校では、平成25年度西東京市教育委員会研究奨励事業研究奨励校として、「通常学級における個に応じた支援の充実」をテーマに、次の二つを軸に研究を進めてきました。一つ目は、教職員が特別支援教育への理解を深め、校内の支援体制を整え、生徒一人一人の教育的ニーズに対応することです。二つ目は、ユニバーサルデザインを基調としたわかりやすい授業づくりを進めていくことです。すべての生徒が「わかる」「できる」喜びや達成感を味わい、自己肯定感を高め、学習活動や学校生活に意欲的に取り組めるように、指導方法の工夫・改善を図っています。



田無第二中学校

チームティーチング（教師がペアで授業を行う）による体育の授業

すこやかな体



スポーツ推進大使「ゆりーと」

目指せ記録更新！「長なわ集会」

本校では、平成24年度から東京都教育委員会のスポーツ教育推進校の指定を受けて、児童の体力向上に取り組んでいます。運動の楽しさを感じ運動量を確保する体育授業の研究を通して、体力をつけるとともに、体を動かすことが好きな児童の育成を目指しています。

また、学期に1回実施している「長なわ週間」では、「長なわ集会」を行い、校庭に流れるBGMに合わせて各クラスが一斉に跳び始める姿で、校庭は活気にあふれます。各クラス3分間で8の字跳びが何回跳べるか挑戦し、跳べた回数を記録していきます。記録更新を目指すことで、学級が一つにまとまろうとする雰囲気が高まってきています。

保谷第一小学校



「長なわ集会」各クラスが8の字跳びの回数の記録更新を目指して頑張っています。

「じょうぶな子」の育成

本校では、五つある教育目標のうち、「じょうぶな子」を平成25年度の重点目標として定め、健康な体と強じんな精神力を身に付け、何事にも粘り強く挑戦する子の育成に力を注いできました。

今年度も「なわとび月間」「マラソン月間」を中休みに実施しました。子どもたちは、何年も取組を重ねることにより、跳躍力や持久力、自分の体を思いどおりに動かす力などを向上させつつあります。

一学級一実践として、本校の課題である握力や投げの力を伸ばす取組も行われています。笑顔あふれる実践にこそ、体力や精神力を育むヒントがあるはずです。

中原小学校



なわとび月間の様子



固定遊具を使った実践

たてわり班活動

本校では、6年生の班長を中心に、異学年で交流する、たてわり班活動を行っています。1学期初めに顔合わせをします。最初は緊張した様子が見られますが、オープンスペース等で遊びや給食の時間を共有したり、一緒に清掃を行ったりしていくうちに、互いの緊張が解け、どの子も笑顔が見られるようになってきます。

上級生は、下級生のお世話をすることでやさしい気持ちになります。また、下級生は、上級生の姿を見て、あこがれの気持ちを抱きます。

今後またたてわり班活動をより充実させ、よりよい人間関係を築き、実りある学校生活を送ることができるようしていきたいと考えています。



オープンスペースで活動している様子

けやき小学校

通常学級における特別支援教育の充実

本校では、平成25年度西東京市教育委員会研究奨励事業研究奨励校として、「個に応じた指導の充実」をテーマに研究を進めています。児童の実態を詳細に把握した上で、さらに表題の着想から、「どの子も自分の成長を実感できる」学習活動をめざし、学校全体で授業研究に取り組んでいます。

【授業づくりの視点】わかる授業をめざし、授業をユニバーサルデザイン化できるように研究を重ねています。

【支援体制づくりの視点】授業のもととなる、すべての児童を支援する組織や体制について検討しています。



体育科研究授業の様子

住吉小学校